

平成 29 年 1 月 21 日

北関東フォーラム

於：シムックス

中斎塾 北関東フォーラム
平成 29 年度第 1 回

言 忠信に、行 篤敬ならば、蛮貊の邦と雖も行われん

新年、第一回目です。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

先に、本を回覧致します。ご紹介する本は渡部昇一さんの『私の人生観・歴史観』（PHP 研究所）です。

昨日まで 4 日間、税務署の立ち入りがありました。隣の部屋にダンボール箱がうずたかく積まれて、税務署員が細かくチェックしていました。渡部昇一さんの『税高くして国減ぶ』という本を見せようかと思いましたが、やめました。最終日に、調査官が私にも話を聞きたいということで、1 時間ほど話をしました。その中で私は、「税金をとるばかりではなく、収めた税金がどのように使われているか、きちんと説明するのが税務署の仕事ではありませんか」と申しました。ふるさと納税にしても、法人等に寄附する場合でも、最近はその使い道を明示する事が多くなりましたから、使い道が分かった上で納税や寄附をすることが出来ます。しかし国は税金を取るだけ取って、使い道を説明しない。おかしな話です。当然、調査官は答えませんでした。答えられないようになっているのでしょう。

前置きはこれくらいにして、論語の解説に参ります。本日の論語の解説は衛霊公 3～5 です。先程の岡本参事の素読は、代表幹事という肩の荷が下りたせいでしょうか、はつらつとした声で、孔子が若返ったような感じが致しました。

【三】子曰く、由、徳を知る者は鮮し。

解説本には、この部分は衛霊公【一】で、陳国で孔子一行が食糧の補給が途絶えて立ち往生してしまい、子路がいきり立って孔子を問いただしたという文章の流れの一環だと書かれています。その時、孔子は子路に「君子でも困窮することはある」と言っていますが、その言い訳です。

孔子が言いました。「子路や、徳というものが本当に分かる者は少ないものだ」

徳の有難さが分からない人達が世の中には多すぎるから、私も困った立場に置かれるこ

とがある。それは仕方がないことだと、子路に愚痴を言っているような感じがします。論語には他にも、自分のことが世の中に知られていないのは残念だと孔子が愚痴を言っているような文章があります。孔子も、もう少し上手くPRすれば良かったと思います。世の中に知れ渡っていないのならば、どうやって世の中に出るか・・・。

皆さんに回覧した写真は、二松学舎大学の新年会で見た夏目漱石のアンドロイドです。上半身が動きますし、声は漱石のお孫さんの声から合成しているようで、まともな話を喋っていました。二松学舎では将来的にはこのアンドロイドに講義をさせようというプロジェクトが進んでいるそうです。前回の講話で、ロボットの時代が来るという話を致しましたが、実感致しました。

漱石のアンドロイドは地下鉄の中刷り広告にもなっていました。「吾輩の講義を聞きに来ないか」と書かれていて、二松学舎大学という文字がありました。今まで、卒業生としての夏目漱石をあまりPRしてこなかったのですが、大学の宣伝に使い出したら結構効果があるようです。

【四】子曰く、無為にして治まる者は、其れ舜なるか。夫れ何をか為さんや。己を恭しくして、正しく南面するのみ。

孔子がいうには、自ら手を下さなくても天下が太平に治まったのは、舜帝くらいではないか。舜帝は何をしたか。ただ恭しく、慎み深く帝位に就いているだけだ。

君子として自分のやるべきことを恭しく身を慎んで祈る。そういう行為だけを一所懸命やっていて、それで国が治まる・・・まるで天皇陛下そのものだと思いました。天皇陛下は政治にも経済にも口を出しません。天皇という位にいて、ご自分の為すべきことを一生懸命やっておられます。

【五】子張行われんことを問う。子曰く、言忠信に、行篤敬ならば、蛮貊の邦と雖も行われん。言忠信ならず、行篤敬ならずんば、州里と雖も行われんや。立てば則ち其の前に参るを見、輿に在れば則ち其の衡に倚るを見る。夫れ然る後行われんと。子張諸を紳に書す。

洲・里とありますが、これは家々の集合体で、洲は2500家、里は25家、鄰は5家です。この「洲里」とは、自分の故郷という感覚で見ればよろしいでしょう。

子張が孔子に「物事が遅滞なくスムーズに行われるにはどうしたらよいでしょうか」と聞きました。

孔子が答えました。「言葉の中に真心がこもっていて、行いが慎み深ければ、たとえ野蛮人の国であってもその主張は伝わり実行されるであろう。言葉に偽りがあり行いがいい加減であれば、たとえ自分の郷里であってもその主張は通じないし行われぬ。立てばまっすぐ正面を見ているし、馬車に乗れば姿勢を崩さないよう横木に寄っているのが見られる。そのように姿勢を正して人と交わっていれば、その主張は行われるであろう。」

子張は、孔子の言葉を忘れないように自分の帯の端に書き留めた。

この時、子張は15歳、孔子が63歳です。ごく若い弟子が大先生に質問をして、先生の教えを忘れないようにメモをとっている、そのようにイメージして下さい。なかなか良い雰囲気伝わって来ます。

その先をイメージする

今年に入ってまだ半月ですから、少しハードルを上げてお聞きします。

- 今年に入って、毎日良い日が続いている方
- 今年に入って、リップサービスを含めて、毎日嘘をついていない方
- 今年に入って、毎日有難うと言われ続けている方

自信を持ってサッと手を挙げて戴きました。有難うと言われるのは大事です。

- 今年に入って、比較的健康法を実践している方

今朝も道場で数名の方と一緒にストレッチと真向法を致しました。肩コリをほぐすストレッチと腰のストレッチです。お時間があれば、皆さんも参加して下さい。

- 昨晚寝る時に、明日もしくは明日以降のことを過去形でイメージして眠れた方

明日これをやろうという予定を思い浮かべて、尚且つそれが出来て良かったなというところまでイメージすると、翌朝は気持ちよく起きられるし、無意識のうちにトントンと動けるようになります。明日の予定を、<これをやろう、あれをやろう>というイメージで止めずに、それが全部完遂して、<我ながらたいしたものだ>と思うところまでイメージして眠ることをお願い致します。

- 今年に入ってから今日まで、毎日自分磨きをしている方

思ったより手が挙がりませんでした。自分磨きはそれぞれ違いますから、ご自分で何かお考え戴きたいと存じます。

原点を確認しよう ―― 棚卸しのすすめ

冒頭、司会の塚越参事が「新春の夢と希望に齡（トシ）はない」と自作の川柳を披露されました。たしかに、頭の中が若ければ齡は関係ありません。

身近な話ですが、自分で認知症だと自覚をして役職をどんどん下りられた方がいます。その方は仕事も普通にこなして、家族や周りの人と普通に会話ができるので自分が認知症という自覚はなかったけれども、昔からの知合いに名刺を渡してしまったのだそうです。それで、自分はもう引退しなければいけないと考え、さっさと準備を始めた。立派なものだと思います。認知症の人は自分が認知症だとは思いません。少しでも兆候を感じたり周りから教えられたりしたら、お医者さんに行って薬を処方して戴くと、ある程度進行を食い止められます。

今日のテーマ「原点を確認しよう」も、そういうことです。なぜ人は生まれ生きるのか、人生の目的は何か・・・時々、自分の原点を確認する必要がある。自分の出発点、自分が仕事を始めた時、何を考えて始めたのか。それを思い出す必要があります。日記を書いている人なら日記を見れば分かります。さもなければ自分が生まれた時、物心ついた頃はどうだったか歴史を辿ってみる。そうすると自分が世の中に出た時は何を考えていたか、ふっと浮かんで来ます。

自分の人生の原点を見直す、そういう時間を今年意識して持たれるとよろしいでしょう。そうすると棚卸しにつながります。棚卸しについては今、私は次のような項目で見直しをしています。

・人の棚卸し

人とお付き合いを、いつ、どのような形で減らしてゆくか。会社であれば、このお客様とはお付き合いをやめたいという優先リストを作るとよろしいでしょう。

・物の棚卸し

自分が死んだ後に、これだけは世の中に残しておきたいと思う物以外は処分する。廃棄処分出来るものは廃棄すればよいですし、組織なども閉鎖するものは閉鎖する。

・遺言状を書く

何を残すか、何があるのかが整理が出来ますから、若くても遺言状は書いておく必要があると思います。

・やり残したものはないか。自分の思いを伝えたい人はいるか

私が会社に残したいものは、教育に関する仕組みです。ものの考え方をどうやって伝えていくか、その仕組みを作る。それだけは是非残したいと思って、役員を集めて経営指導研修会を行っています。

師匠が自分の知識・考え方をすべてひっくるめて弟子に注ぎ込むことを写瓶と言います。写瓶する相手がいる人生は幸福です。自分には写瓶できるものがあるか、自分は今まで学んできただろうか・・・考えてみるとよろしいでしょう。

猪瀬理事長は、「学ぶと顔つきが変わり、学びを深めると行動が変わる」と言っておられます。私もその通りだと思います。佐藤一斎の「三学戒」を思い出すとよろしいでしょう。

少にして学べば、則ち壮にして為すことあり

(小さい頃から学んでいれば、大人になって世の中の役に立つ事が出来る)

壮にして学べば、則ち老いて衰えず

(大人になっても学んでいれば、老人になってもその力は衰えない)

老いて学べば、則ち死して朽ちず

(老人になっても学びをやめなければ、死んだ後も自分の考え方は朽ちずに残る)

アメリカ第一主義の行方

トランプさんが第45代アメリカ大統領に就任しました。何事につけて、分かりやすいアメリカ第一主義を唱えています。アメリカの国の中で不平不満を持っていた人達に、〈あなた方に焦点を当てて、あなた方を良くしますよ〉というメッセージが伝わって来ますし、パフォーマンスもしています。今迄いい思いをしていた既得権益を持つ人たちが、のきなみ追いやられていく。アメリカはそういう流れに入ったと明らかに見えます。そうになると、今までアメリカの既得権者たちと付き合っていたいい思いをしていた他の国々は、これからとんでもない目に陥ることになる。アメリカ第一主義にはそういう面もあると理解してください。

小池都知事も都民第一主義ですから、似たようなものです。さて、身近で太田市長選挙はどうでしょうか。太田市民第一主義というのを打ち出すのも、選挙には有効かもしれませんね。

お時間が参りました。最後に、メディアを見る時には、報道されている表面だけを見るのではなく、本質(中身)を見る。それを是非自分自身のものにして戴くようお願いして、本日の講話を終了致します。有難うございました。